

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP)

for Promoting International Education

「好きです高師 わたしたちの町・わたしたちの学校」

～「人」・「もの」・「自然」に感謝し、地域とともに歩む高師っ子の育成～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで地域の歴史や産業、校内での飼育や栽培活動を教材にした教育活動を地域の協力を得ながら実践してきた。そこで、さらに地域を見つめ、地域から学ぶことにより、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を推進しようと考えた。

そのために、各学年の教育課程を見直し、体験を重視した教育課程を再編成した。1～2年生の生活科の学習、3～6年生の社会科・総合的な活動の学習において、地域の特色を生かした体験的な活動を計画的に組み込み、教材の価値とねらいを明確にして取り組むことにした。また、子どもたちが愛着をもっている校内の動物（ヤギ、チャボ、ウサギ）の飼育活動、異学年交流のふれあい班活動（縦割り班活動）、児童会のペットボトルキャップ・アルミ缶集めなどの意義について再確認し、子どもたちの豊かな心の育成を図っていくことにした。

各教育活動の中で、価値やねらいをはっきりさせて取り組むことで、子どもたちは、人の関わりに気づき、身の回りの環境に目を向け、「人」・「もの」・「自然」に感謝する心が育ち、地域や学校に愛着をもつようになると考え、持続可能な開発のための教育（ESD）のプロジェクトを立ち上げることにした。

このプロジェクトをもとに、地域・家庭・学校が連携・協力して継続的に実践していくことで、将来にわたって地域・学校のよさに気づき、誇りと愛着をもつ子どもたちを育てていくことができると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、持続可能な開発のための教育（ESD）のうち、「地域学習」「人権学習（いのちの学習）」「環境学習」を中心にして、持続可能な社会づくりの担い手を育てていきたい。自分たちの地域や身の回りの事象について、地域や人と関わりながら把握し、その課題を見つけ、解決に向けて自ら動き出す子どもの育成を目指したい。

そのために本校では、以下の4つの活動で次のような目標を掲げる。

(1) 地域と関わる活動

- ・校区たんけん、校区再発見
- ・戦争の話聞く会、昔の遊びに挑戦しよう
- ・福祉施設との交流（老人ホーム訪問）

地域のお年寄りや、いろいろな人々との交流を通して、地域の歴史や暮らし、福祉についての現状を理解させる。そして、より心豊かな社会へとつながる活動を考えさせ、地域の一員としての自覚をもたせる。

(2) 豊かな心を育てる活動

- ・ふれあい広場の動物（ヤギ・ウサギ・チャボ）の飼育
- ・学年園，一人一鉢での野菜や草花の栽培
- ・稲作体験活動（田植え，草刈り，稲刈り，しめ縄作り，収穫に感謝する会）
- ・ふれあい班活動（異学年交流活動）

命の尊さを学ばせ、植物を育てる苦労や収穫の喜び・達成感を味わわせる。稲作体験を通して、農家の人々の努力や自然の恵みに感謝する心を養う。異学年交流活動を通して、思いやりの気持ちや感謝の気持ちを育む。

(3) 環境を守る活動

- ・校区たんけん
- ・ごみ減量大作戦
- ・児童会の牛乳パック・ペットボトルキャップ・アルミ缶集め活動

校区の自然環境やごみ問題，リサイクル活動について学ばせ，住みよい町づくりへの関心を高め、地域に向かって環境を守る運動を発信させる。

(4) 行事などを関連づけた活動

- ・運動会，学芸会，授業参観，校区合同防災訓練，あいさつ運動

児童・保護者・教職員・地域住民が一体となって成果を発表したり，協力して取り組んだりすることで，地域の誇りや地域への愛着心を育み，人とのつながりを重視していく姿勢を養う。あいさつ運動に取り組み，地域の方々との絆を深めさせる。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では，前述の目的のとおり ESD への取り組みは，「地域学習」「人権学習（いのちの学習）」「環境学習」を中心にして進めていく。その学習を深めていくことで，地域を見つめ，人とのつながりが生まれ，持続可能な社会づくりの担い手を育むことができると考える。

各学年で目標を達成するために，総合的な学習の時間や生活科・社会科等で地域学習と行事とを関連づけて活動を進めていく。そのための実践計画として，次のような ESD アクティビティプログラムを作成して実践を進める。

活動を進めるための ESD アクティビティプログラム（4年生の例）

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会	火事や事件 事故からくらしを守る		水はどこから		ごみの処理と利用		きょう 土を開く				
理科	季節と生き物(春)		季節と生き物(夏)		季節と生き物(秋)				季節と生き物(冬) 自然の中の水		
総合	飼育の 仕方を 覚えよう		動物博 士にな ろうⅠ			命につ いて考 えよう	動物博 士にな ろうⅡ	くらし のエコ を考え よう	学んだ ことを 伝えよ う	飼育の 仕方を 伝授し よう	
食育		残食0 運動									→
行事		530 運動			わくわ く体験 活動	校区合 同防災 訓練					

(1) 地域の人と関わる活動

- ・ 1年生：昔の遊びに挑戦しよう（お年寄りとの交流）
- ・ 2年生：校区たんけん（お気に入りの場所、お世話になっています）
- ・ 3年生：校区再発見Ⅱ（農家、工場、商店、施設）
- ・ 5年生：収穫に感謝する会



お年寄りの方から昔の遊びを教
てもらい、挑戦する1年生



校区たんけんで、校区の農家の方に
スイカ作りのひみつを聞く2年生

(2) 豊かな心を育てる活動（いのちの学習、人権学習）

- ・ 全学年：ふれあい班活動（異学年交流活動）
- ・ 1～3年生：学年園，一人一鉢での野菜や草花の栽培
- ・ 4年生：ふれあい広場の動物（ヤギ・ウサギ・チャボ）の飼育
- ・ 5年生：稲作体験活動
- ・ 6年生：福祉施設との交流（老人ホーム訪問）
- ・ 園芸委員会：花いっぱい運動



ふれあい広場で動物たちの世話を
する4年生



ふれあい班での交流を楽しむ子ど
もたち

(3) 環境を守る活動

- ・ 全学年：530運動
- ・ 全学年：児童会の牛乳パック・ペットボトルキャップ・アルミ缶集め活動
- ・ 全学年：残食0運動
- ・ 4年生：ごみ減量大作戦，リサイクル運動



ペットボトルキャップ・牛乳パック
集める運営委員



地域の530運動をする子ども
たち

(4) 行事などを関連づけた活動

- ・成果の発表や披露のための活動
- ・地域の人とともに行う活動（校区合同防災訓練，あいさつ運動）



校区の方々と合同で防災訓練を行
う子どもたち



P T Aと協力してあいさつ運動を
する高学年の子どもたち

Type of materials to be used（使用する教材）

- ・「ウォッチング 高師」 豊橋市立高師小学校 第5版 2013
- ・「高師風土記」 高師風土記刊行委員会 1976
- ・「かがやくとよはし」 豊橋市教育委員会 2012
- ・「小学校 キャリア教育の手引き」 文部科学省 2010
- ・「キャリア教育ノート」 夢を見つけ夢をかなえる航海ノート 愛知県教育委員会 2012

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・児童の様々な活動への取り組みの成果を、学習記録や振り返りカード、レポートから把握する。
- ・学習や活動のまとめとしての授業公開や集会等で、地域や家庭に発信する意欲・態度を観察して評価する。

上記の評価とともに、さらに下記のことを実践して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・9月と2月に行う学校評価アンケートで、保護者、児童、教職員を対象にESDの取り組みについて調査し、地域とともに生きる高師っ子を育てる活動を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

2/7/2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

校長, 豊橋市立高師小学校

Position, (役職) Institution's name (学校名)